

令和2年12月24日

海道緑地保全地域 里山へGO！実施報告

1. 背景と目的

海道緑地保全地域は、一団のまとまりをもった武蔵野特有の平地林であり、古くから当地一体の防風林として保存されてきました。近年では、道路の整備及び住宅地の造成など、市街化が進んでいる中で、残された貴重な自然地となっています。

「里山へGO！」では、現況の樹林地を武蔵野の平地林の典型として保全していくため、活動を実施しています。

2. これまでの活動

【平成28年5月21日、12月17日】

海道緑地保全地域では平成28年度に初めて「里山へGO！」を開催しました。初回の5月は林床に光を当てるための藪刈りと立ち枯れした樹木を伐採しました。2回目の12月では、まず除伐を行い、切り出した木を杭として活用し、落ち葉溜めを作成しました。その後、落ち葉かきを行い落ち葉溜めに集積しました。



【平成29年6月17日】

平成29年度に実施した「里山へGO！」は、春時期ということもあり、コナラの実生が多くありました。実生木の生長は雑木林を若返らせるために必要な過程となります。そのため実生を刈らずに、周辺の草刈りを実施いたしました。また、樹林地の維持管理として小木やツルなどの除去も行いました。



【令和元年 11 月 16 日】

令和元年度は、例年の活動に引き続き、藪刈り及び伐木といった樹林地の維持管理を行いました。伐木では、育成途中の幼齢木を守るために、育成する木を選定のうえ、それ以外の木を伐採しました。伐採後は、杭などに活用するため、90 c mの長さに玉切りにしました。



このように、海道緑地保全地域での「里山へ GO！」は、初開催から昨年度まで計 5 回実施し、84 名の方のお力をお借りしながら保全活動を行いました。この活動により、現在は林床に光が届く明るい雑木林が維持されています。



里山へ GO！ 実施当時



現在

3. 令和 2 年度の活動

令和 2 年度は、6 月と 11 月の合計 2 回を予定しておりましたが、6 月については新型コロナウイルス感染症の影響から中止となり、11 月のみの実施となりました。

【令和 2 年 11 月 14 日】

第 6 回目となる海道緑地保全地域での「里山へ GO！」は、中級者プログラムとして企画し、保全活動経験者が 21 名参加しました。

中級者を対象としたプログラムということで、通常自然観察に加えて、海道緑地保全地域で行っている萌芽更新の方法や意義について解説を受けました。また、萌芽更新を実施する前の写真を確認後、実施したエリアを巡回し、萌芽更新の前後を見比べることで、活動エリアの変遷を見る等、通常自然観察に加え、保全の意義についても学びました。

その後、平成 29 年に萌芽更新地として一度伐採したエリアで保全活動を実施しました。このエリアは伐採後、人手不足等で手が付けられていなかったこともあり、低木類が繁茂してしまっていたため、改めて萌芽更新地とするべく伐採及び藪刈り等の活動をしました。過

密状態となった木々を切り倒すのは一苦勞ですが、今回は保全活動経験者がメインということもあり、1時間余りの活動で130m²程、切り開くことができました。



平成29年 萌芽更新後



令和2年 活動前



令和2年 活動後

活動後には、平成29年に萌芽更新のため伐採した際の切り株も見えるようになりました。

「里山へGO!」では、引き続き、皆様と保全活動を実施し、海道緑地保全地域を始めとした「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づく保全地域の維持管理に努めていきます。